

環境報告書 2018

environmental report





株式会社 サンエス
代表取締役社長
佐藤 卓己

今年7月に発生いたしました西日本豪雨により被災された方々並びに関係の皆様にご心からお見舞い申し上げます。被災地の1日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

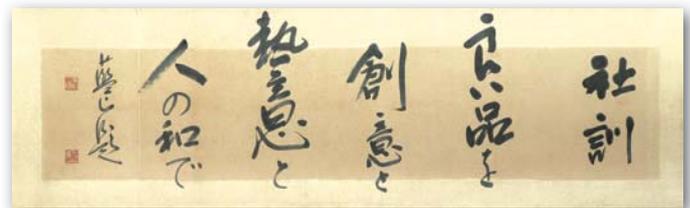
当社は環境に配慮した多くの商品を提供しておりますが、その中の1つに「空調風神服®」があります。これは服に付いた小型ファンにより、着用者に涼しく快適にすごして頂くための商品となっており、使用するエネルギーもエアコンなどに比べると格段に少なく、地球にやさしい商品です。この「空調風神服®」を被災地の復興ボランティアの一部の方に無料で貸し出しを行い、使用された多くの方々から感謝の言葉を頂くことができました。また被災地で断水となったお客様には当社製品の「奥大山の美味しい水」を迅速にお届けし感謝の言葉を頂くことができました。これからも地域の皆さまのお役に立てる企業でありたいと考えております。

昨年当社は創業85周年を迎えることができました。これもひとえにご縁をいただいたすべてのお取引先皆様のお陰と心より感謝しております。これからも環境管理活動をサンエスグループ一体となって取り組んで参る所存です。この報告書を通じて私たちの考えや取り組みについて御理解頂ければ幸いです。

■ 社訓 良い品を創意と熱意と人の和で

『社訓』は、サンエスで働く社員の行動指針です

- (良い品) お客様の満足を得る製品・サービスを
(創意) 独創的な考えを持ち
- (熱意) 仕事に対する情熱を持ち
- (人の和) 社員の総力を結集して創り続けること



■ 経営理念

- 常に社会のニーズを先取りし、独自の価値をもった魅力ある企業として地域社会の発展に貢献する。
- 社員一人ひとりの能力開発に努め、会社の発展と社員および家族の幸せを図る。
- 地球市民として、関わりのある全ての人々との相互繁栄を期す。

目次

ごあいさつ/目次/編集方針.....	1
会社概要.....	2
国内事業所・グループ会社所在地.....	3
環境コンプライアンスへの取り組み.....	4
環境管理.....	5
環境管理.....	6
環境負荷バランス.....	7
環境負荷の低減.....	8
環境マネジメントの実践.....	9
環境マネジメントの実践.....	10
リスク管理.....	11
事業活動における環境への取り組み.....	12
社会的取り組み.....	13
製品開発における環境配慮.....	14

〈編集方針〉

- 発行目的
弊社の環境への取り組みについて情報公開し、より多くの方々にご理解をいただくことを目的として、2005年度より発行しています。
- 対象範囲
ISO14001を認証取得している株式会社サンエスの7サイトにおける環境に関する活動
- 対象期間
2017年4月1日～2018年3月31日
(期間以降の内容も一部記載)
- 発行部署
株式会社サンエス 管理本部 人材開発部
- 連絡先
〒720-2124 広島県福山市神辺町川南741-1
TEL: 084-963-1146
FAX: 084-963-5115

■ 会社概要

創 業 1932年(昭和7年)
 資 本 金 9,700万円
 従 業 員 数 700人
 売 上 高 299億/連結 235億/単独 (平成29年度実績)
 代 表 者 代表取締役社長 佐藤 卓己
 取 引 先 シャープ、丸紅、東レ、クラレ、他
 全国弊社製品取扱代理店

事業内容

ユニフォーム・カジュアルウェアの企画・製造・販売
 設備機器・制御機器の設計およびソフト開発
 LED製品・メカトロ製品の設計・開発・製造・販売
 太陽光発電システム・家電・事務機の販売
 ミネラルウォーターの販売

■ 製品紹介

半導体組立検査装置 	カメラモジュール 	制御基板 	メカトロ機器 (複写機周辺機器) 	太陽光発電システム 
小型空気清浄機(CL-K20F-01) KiralyArt(キラリアート) 	ミネラルウォーター 	サンクリア 	空調風神服® 	雷神服 
ワーキングユニフォーム 	クリーンユニフォーム 	サンビネックス 	サンビネックスミニ 	

■ 当社の沿革

1932年(昭和7年)	佐藤群治郎商店創業	2001年(平成13年)	SAS 設立(中国上海)
1949年(昭和24年)	佐藤織産(株)設立	2001年(平成13年)	ISO14001 認証取得
1970年(昭和45年)	サン電子(株)設立	2002年(平成14年)	KSET 第二工場建設(中国昆山)
1972年(昭和47年)	サン開発(株)設立	2004年(平成16年)	カジュアルウェア SPA 事業展開
1973年(昭和48年)	半導体後半組立製造開始	2006年(平成18年)	WSE 設立(ベトナム)
1976年(昭和51年)	サン電機工業(株)設立	2006年(平成18年)	WTEC 設立(タイ)
1981年(昭和56年)	サン油機工業(株)設立	2007年(平成19年)	テクノセンター技術棟建設(福山市神辺町)
1983年(昭和58年)	佐藤織産(株)を(株)サンエスへ社名変更	2007年(平成19年)	WSE A 棟建設(ベトナム)
1983年(昭和58年)	サン電子(株)・サン電機工業(株)・サン油機工業(株)を(株)サンエスへ合併	2008年(平成20年)	KWVM 設立(中国昆山)
1988年(昭和63年)	第一流通センター建設(福山市神辺町)	2008年(平成20年)	WSE B 棟建設(ベトナム)
1993年(平成5年)	第二流通センター建設(福山市神辺町)	2008年(平成20年)	カーボンオフセット付ユニフォーム発売開始
1995年(平成7年)	サンミネラル事業部開設 奥大山のおいしい水販売開始	2009年(平成21年)	日本橋ビル建設(中央区小伝馬町)
1995年(平成7年)	WOI 設立(香港)	2009年(平成21年)	太陽光発電パネルモジュールの組立開始
1996年(平成8年)	WSG 設立(ベトナム)	2010年(平成22年)	SWAT 設立(中国上海)
1997年(平成9年)	テクノセンターデバイス棟建設(福山市神辺町)	2011年(平成23年)	SUN-S USA 設立(アメリカ)
1999年(平成11年)	西麻布ビル建設(港区西麻布)	2011年(平成23年)	KSET 第三工場建設(中国昆山)
2000年(平成12年)	KSET 設立(中国昆山)	2012年(平成24年)	奥大山水工場建設(鳥取県江府町)
2000年(平成12年)	ISO 推進室開設	2013年(平成25年)	(有)ムーブスター設立
		2014年(平成26年)	(株)センチュリーアークス設立
		2017年(平成29年)	繊維本部ビル建設(福山市神辺町)

国内事業所・グループ会社所在地

● 本環境報告書対象サイト

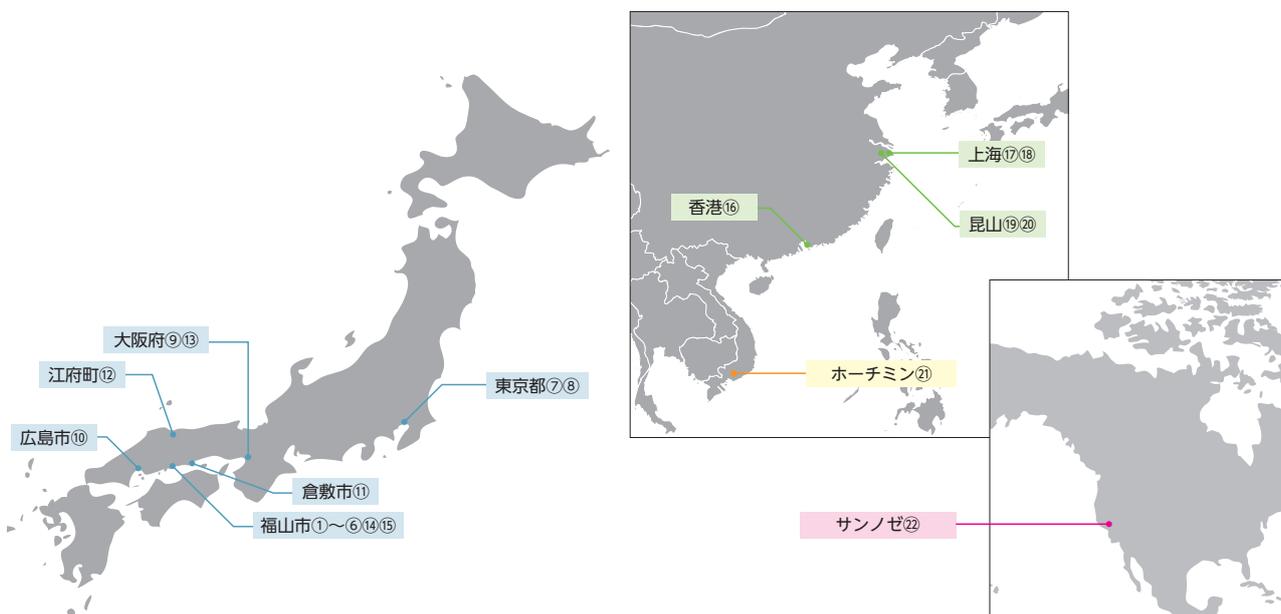
広島県福山市	①本社ビル	管理本部、ソリューション事業本部
	②繊維本部ビル	ユニフォーム事業部
	③第一流通センター	サンミネラル事業部
	④第二流通センター	物流センター、(有)サンエスビジネスソリューション
	⑤テクノセンター	電子事業部、制御事業部
	⑥神辺工場	設備事業部、(有)サンエスビジネスソリューション
東京都	⑦東京支店(日本橋ビル)	ユニフォーム事業部、カジュアル事業部
	⑧東京支店(西麻布ビル)	ソリューション事業本部、(株)センチュリーアークス

● その他の事業所

⑨大阪支店(ユニフォーム事業部)	⑩広島営業所(サンミネラル事業部)
⑪倉敷営業所(サンミネラル事業部)	⑫奥大山水工場(サンミネラル事業部)

● グループ会社

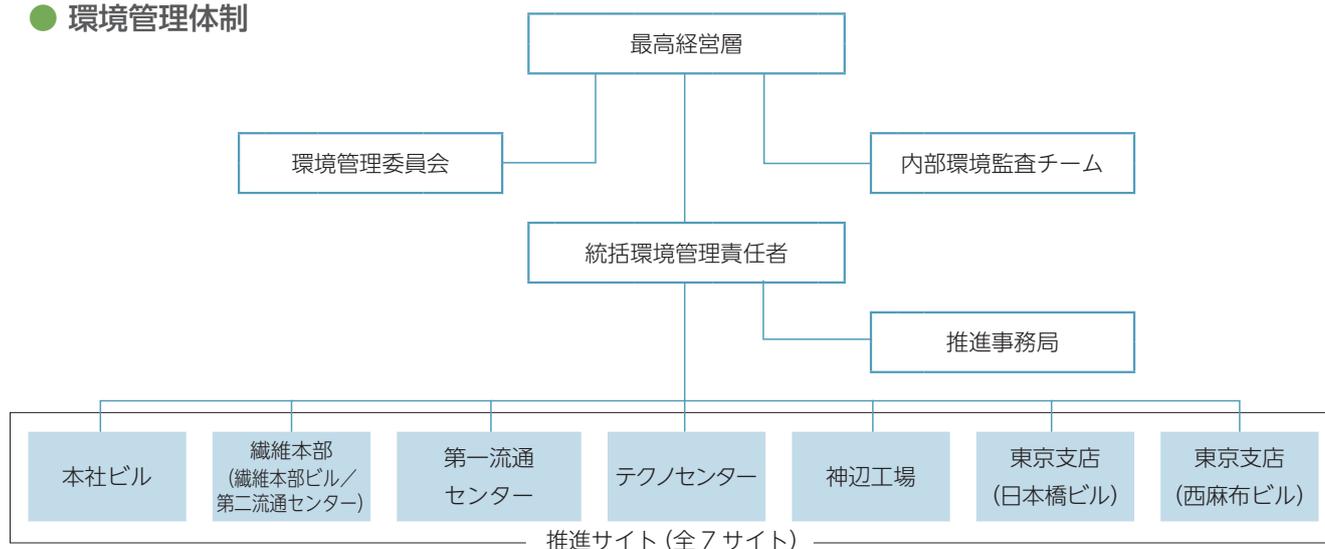
日本国内	⑬(株)ユニックス(大阪営業所)	⑭(株)グンケイ	⑮サン開発(株)
中国	⑯温得福遠洋投資有限公司 香港本社(WOI)	⑰上海善媛司服飾有限公司(SAS)	
	⑱上海卓己貿易發展有限公司(SWAT)	⑲三愛司電子技術有限公司(KSET)	
	⑳昆山沃得福自動化設備有限公司(KWAT)		
ベトナム	㉑ WONDERSFUL SAIGON ELECTRICS CO.,LTD. (WSE)		
アメリカ	㉒ SUN-S USA, Inc.		



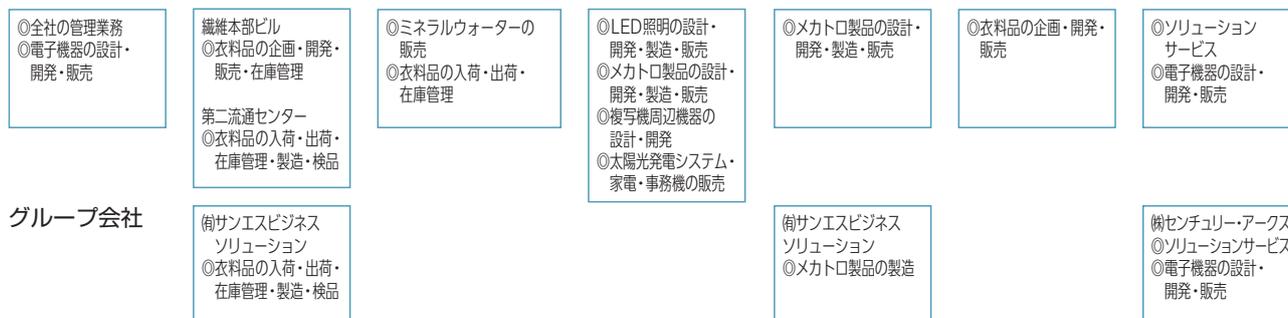
①本社ビル ②繊維本部ビル ③第一流通センター ④第二流通センター ⑤テクノセンター ⑥神辺工場
 ⑦東京支店(日本橋ビル) ⑧東京支店(西麻布ビル) ⑨WOI ⑩SAS ⑪SWAT ⑫KSET ⑬WSE

環境コンプライアンスへの取り組み

● 環境管理体制



適用範囲



● 環境管理委員会

社長を中心として、環境マネジメントシステムを継続的に改善させるため、各サイトの代表者が集まり（東京サイトはテレビ会議システムを利用して参加）、年2回環境管理委員会を実施しています。

● 国際規格認証取得

環境マネジメントシステム

事業所	認証番号	認証の種類	認証機関
株式会社サンエス (本ページ記載の7サイト)	09366 ※1	ISO14001:2015	Intertek
三愛司電子技術(昆山)有限公司	00118E31680R5M/3200	ISO14001:2015	CQC
WONDERFUL SAIGON ELECTRICS CO.,LTD.	EMS631765	ISO14001:2015	BSI

品質マネジメントシステム

事業所	認証番号	認証の種類	認証機関
株式会社サンエス 電子事業部	08779-JAB	ISO9001:2015	Intertek
株式会社サンエス 電子部門 応用機器グループ	Q2437	ISO9001:2015	ASR
三愛司電子技術(昆山)有限公司	00118Q34678R6M/3200	ISO9001:2015	CQC
WONDERFUL SAIGON ELECTRICS CO.,LTD.	FM631763	ISO9001:2015	BSI



※1 認証登録証明書

● 環境方針

基本理念

株式会社サンエスは、T、T、S（人を包む (Textile)、人を育む (Technology)、人を活かす (Science)) を事業活動の基本コンセプトとし、環境・健康・安全をキーワードに、人や自然に配慮され安心して使用できる商品を提案し、人類の豊かな暮らしとかけがえのない自然環境を次世代に引き継ぎます。

行動指針

1. 環境・健康・安全に配慮した“商品企画・開発の推進”

環境・健康・安全に配慮した商品を積極的に企画・開発・生産・販売します。

2. 環境・健康・安全に配慮した“事業活動の推進”

①天然資源及びエネルギーの消費量を低減するとともに、温室効果ガスの排出削減に努めます。

②排出物の3R (Reduce・Reuse・Recycle)化を推進し、廃棄物量の削減に努めます。

③汚染の予防を推進し、環境保護に努めます。

3. 環境・健康・安全に配慮した“企業風土の構築”

①サンエスで働くまたはサンエスとともに働くすべての人に対し、計画的に環境教育を実施し、地球環境に強い人を育成します。

②周辺地域の環境活動等に積極的に取り組み、地域社会への貢献に努めます。

③法規制・条例等及びサンエスが同意するその他の要求事項を順守します。

運用

1. 環境マネジメントシステムの運用

行動指針を具現化するため、環境マネジメントシステムの運用により目的・目標管理または維持管理を推進し、環境パフォーマンスを向上させるため、環境マネジメントシステムの継続的改善に努めます。

2. 環境方針の周知

サンエスで働くまたはサンエスとともに働くすべての人に、文書または電子文書にて周知するとともに、一般希望者にも公開します。

3. 環境情報の開示

環境への取り組みについて、より多くの方々にご理解いただくことを目的として、文書及び電子文書にて環境報告書を発行します。

2016年11月1日

株式会社サンエス 代表取締役社長 佐藤 卓己

● 環境目的・目標と実績

当社では環境方針の行動指針に沿って、環境目的・目標を設定し、継続的改善に取り組んでいます。

2017年度に取り組んだ主な環境目的・目標の結果です。

環境目的	指標	目標	実績	結果	具体的な取り組み	
環境配慮商品・製品の開発	開発件数 (件)	3 件	3 件	○	空調風神服小型バッテリー、ファン、オゾン生成器	
環境・健康・完全・介護に配慮した商品企画・開発の推進 (衣料商品)	環境配慮品比率 (%)	90.4% 以上	94.1%	○	空調風神服 [®] 、雷神服、他	
エネルギー使用量の削減	主として管理事務を行う本社等	エネルギー使用量 (kL) / 延床面積 (km ²)	1.626 以下	1.413	○	空調機器、照明設備、オフィス機器の省エネ
	半導体組み立て工場	エネルギー使用量 (kL) / 延床面積 (km ²)	9.05 以下	7.69	○	工程の集約化、LED 照明への変更、エネルギー管理標準の設定等
	メカトロニクス製造工場	エネルギー使用量 (kL) / 延床面積 (km ²)	1.15 以下	1.15	○	作業効率の向上、空調機器、照明設備の省エネ
省エネルギー商品の販売量の拡大	省エネ家電等	実売台数 (台)	435 以上	453	○	省エネ家電
	太陽光発電システム	実売台数 (KW)	132 以上	136	○	太陽光発電システム
有料ゴミ処理券の削減 (日本橋サイト)	有料ゴミ処理券 (枚)	295 枚 以下	222 枚	○	オフィス内の排出物削減、書類の裏面使用	
排出物の3R化の推進	有価率 (%)	55.5% 以上	78.6%	○	有価物化の推進 (金属、シリコン屑等)	
運送便の環境配慮型運用	軽油 (ℓ) / 万個 (出荷数量)	57.8 以下	46.2	○	荷物の効率化、エコ運転	
公的資格の取得 (第二種電気工事士)	取得率 (%)	50% 以上	82.0%	○	社内勉強会の開催	

環境管理

● 法的及びその他要項事項及び適用サイト (重要と思われるものを抜粋)

当社は、法的及びその他要項事項を順守すべく様々な自主管理活動を実施しています。

区分	法令・条例・その他の規制	要求事項	適用サイト						
			本社ビル	繊維本部ビル／第一流通センター	第一流通センター	テクノセンター	神辺工場	東京支店(日本橋ビル)	東京支店(西麻布ビル)
資源	資源有効利用促進法	指定製品への材質表示識別マークの表示			●				
		指定製品への容器包装識別マークの表示		●	●				
	容器包装リサイクル法	(財)日本容器包装リサイクル協会への再商品化委託		●	●				
	家電リサイクル法	家電リサイクル券の発行				●			
	廃棄物処理法	産廃物・事業系一般廃棄物排出事象者としての対応	●	●	●	●	●	●	●
	港区廃棄物処理条例・規則	事業用大規模建築物保有者としての対応							●
気候維持	省エネルギー法	特定事業者(エネルギー管理)としての対応	●	●	●	●	●	●	●
		エネルギー管理指定工場としての対応				●			
	地球温暖化対策推進法	温室効果ガス排出特定工場としての対応	●	●	●	●	●	●	●
	フロン排出抑制法	フロン類特定製品廃棄時の行程管理の実施	●	●	●	●	●	●	●
		フロン類特定製品の定期点検	●	●	●	●	●	●	●
第一種フロン類回収業者としての対応				●					
化学物質	化学物質安全情報提供指針	危険有害物質入手時のSDS交付の確認・入手、SDS記載内容の対応	●	●	●	●	●		●
	RoHS指令、中国版RoHS	化学物質含有製品を対象地域に輸出する上での規制に対する対応	●			●	●		
	REACH規則		●			●	●		
水質汚濁	浄化槽法	浄化槽の保守点検及び清掃、法定検査の実施		●	●		●		
	下水道法	公共下水道管理者への届出	●			●		●	●
騒音振動	広島県規則	県知事が定めた騒音・振動の規制基準の順守		●		●	●		
地域保全	工場立地法	生産施設面積／敷地面積割合の基準の順守				●			
	工場立地法に基づく準則を定める条例	緑地面積／敷地面積の割合の基準の順守				●			
安全	消防法	地下タンク貯蔵所・屋内貯蔵所・一般取扱所における基準の順守				●			
		指定可燃物貯蔵・取扱		●					
		消防用設備等点検結果の報告	●	●	●	●	●	●	●
	高圧ガス保安法	第一種高圧ガス製造者としての対応				●			
		第二種高圧ガス製造者としての対応				●			
	労働安全衛生法	規模に応じた管理者の選任		●	●	●	●	●	●
		委員会の設置、開催		●	●	●	●		
		作業主任の選任				●			
		化学物質のためのリスクアセスメント	●	●	●	●	●		●
	毒劇物取締法	劇物取扱者としての対応				●			
クレーン等安全規則	定期点検の実施、資格者の選任					●			
総合	神辺工業団地公害規制基準	規制基準の順守				●			

環境負荷バランス

● 環境負荷バランス2017年度実績

INPUT	エネルギー	重油	254 kℓ
		石油ガス	19 t
		電力	5,673kWh
		エネルギー原油換算量	1,708 kℓ ※1 グラフ1
	水		27,898 t
	原 材 料	プラスチック類	281 t
		金属・電気部品	590 t
		紙・布類他	822 t
		化学物質	235 t



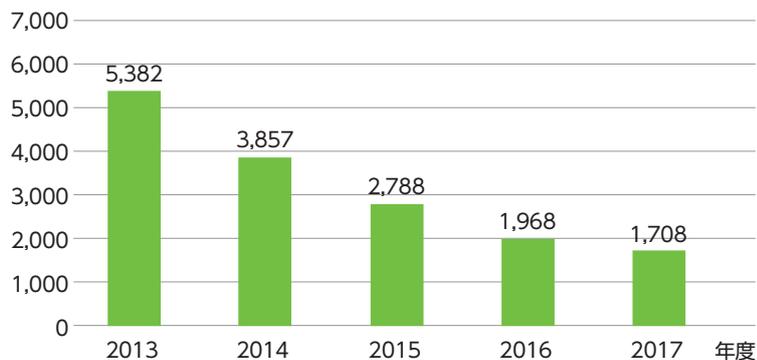
業務内容

全社の管理業務、電子機器の設計・開発・販売、複写機周辺機器の設計・開発
LED照明・メカトロ製品の設計・開発・製造・販売、衣料品の企画・開発・製造・販売
ソリューションサービス、ミネラルウォーターの販売、太陽光発電システム・家電・事務機の販売
衣料品の入荷・出荷・在庫管理・検品

OUTPUT	排 水	1,757 t
	温室効果ガス	4,609 t-CO₂ ※2 グラフ2
	一般廃棄物	15 t
	産業廃棄物	15 t
	有 価 物	85 t

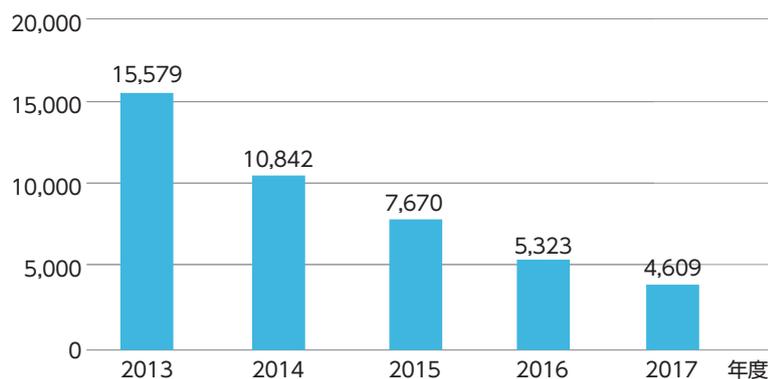
※1 グラフ1

● エネルギー使用量(原油換算) 6,817kℓ



※2 グラフ2

● 温室効果ガス排出量 15,502t-CO₂



※ LED 照明

当社は省エネ法の規定に基づく特定事業者指定され(2010年)、LED照明への切り替え(※写真)、太陽光発電システムの導入、工場の集約、ノート型パソコンの内蔵蓄電池の有効利用などで省エネを進めCO₂削減を図っています。

環境負荷の低減

● 排出物の3R化活動

私たちは3R化活動により廃棄物量の削減に努めています。

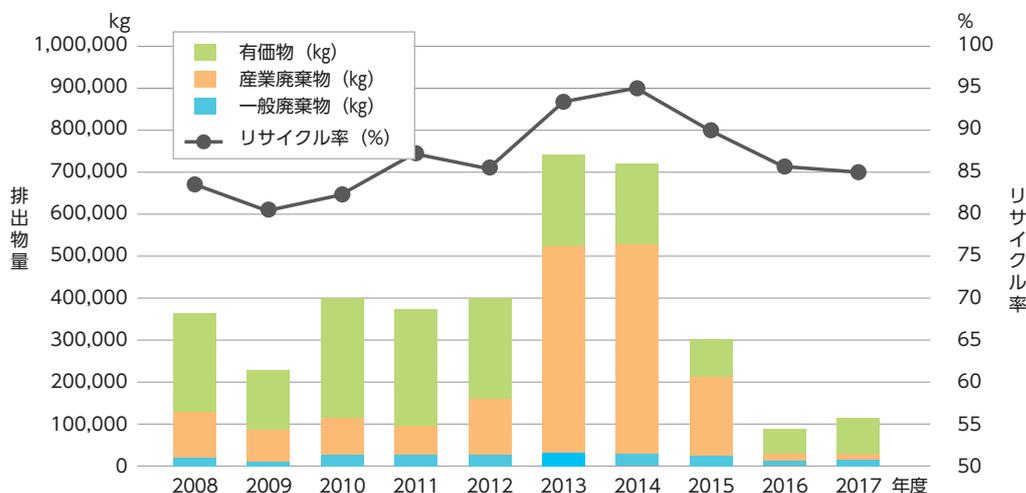
Reduce (発生抑制)	主な活動	設計段階からの省資源化、長寿命化
		生産効率化による廃棄物の削減
		電子印導入によるペーパーレス
Reuse (再利用)	主な活動	リターナブルボトル (空ボトル洗浄殺菌後再使用)
		純水ブロー排水の再利用
		納入容器の通函
Recycle (再資源化)	主な活動	ダンボール・オフィス紙・プラスチック片、金属片、シリコンくずの有価物化

● 排出物量の処理状況

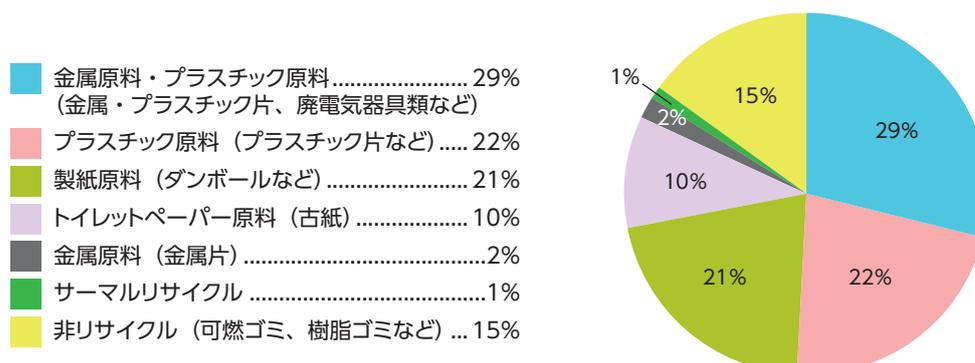
排出物の85%をリサイクルしています。

リサイクル率% = (総リサイクル量kg + 有価物量kg) ÷ 総排出物量kg × 100

● 排出物量、リサイクル率



● 排出物処理状況 (2017年度)



環境マネジメントの実践

● 外部環境監査

ISO14001 維持審査、移行審査

2018年6月25日～27日にインターテック・サーティフィケーション(株)による『ISO14001』維持審査を受審し、認証の維持が認められました。

審査結論

不適合	0件
改善の機会	1件

テクノセンター



第一流通センター



審査場面

本社



● 内部環境監査

当社では毎年1回全サイトで内部環境監査を実施しています。

内部環境監査は、当社の環境管理活動がISO14001規格の要求事項・環境方針・環境目標・環境マネジメントマニュアル・環境規定・業務手順書及び環境マネジメントプログラムに適合し、順法のうえ効果的に実施されているか、また、環境方針の達成にとって環境マネジメントシステムが有効に機能しているかを評価することを目的として実施しています。

内部環境監査員登録者数

- ・主任内部環境監査員.....7名
- ・一般内部環境監査員.....13名
- 合計.....20名

書類審査(本社ビル)



現場審査(神辺工場)



現場審査(神辺工場)



現場審査(本社ビル)



環境マネジメントの実践

● 環境緊急事態対応準備及び訓練

万一の環境緊急事態に備えて、定期的に緊急事態のテストを実施しています。

〈実施手順〉

1、対象の特定

事故・緊急時に環境影響が懸念される環境側面を特定する。

2、対応手順

予想される環境緊急事態に関する対応や環境影響の予防・緩和を含めた手順を作成する。

3、対応手順テストと記録

対応手順テストを可能な範囲で実施し記録に残す。

4、レビュー

定期的に手順の見直しを行い必要に応じて改定する。また、環境緊急事態が実際に発生した場合は定期的に手順の見直しを行い必要に応じて改定する。



元パブルの締切り



オイルフェンスの準備



オイルフェンスを使用して流出防止



土嚢を使用して流出防止

● 防火訓練



避難訓練(テクノセンター)



避難訓練(テクノセンター)



避難訓練(第一流通センター)



避難訓練(神辺工場)



避難訓練(神辺工場)



避難訓練(本社)



リスク管理

● 環境教育

当社では、環境マネジメントプログラム(教育)に沿って環境教育を実施しています。

環境教育名	内 容
能力資格必要業務教育	資格取得の為に技能講習
環境指定業務教育	環境指定業務従事者に対する教育
環境管理一般教育	環境マネジメントシステムの運用に関する教育
環境管理者教育	環境管理全般のレベルアップ研修
内部監査員教育	レベルアップ研修、監査員養成セミナー

● 資格取得状況

公的資格の名称	法定必要人数	総保有者数
エネルギー管理員	1	3
危険物取扱者	1	5
防火管理者	7	17
衛生管理者	5	9
安全管理者	3	8
安全運転管理者	4	6
特定化学物質等作業主任者	1	3
特別管理産業廃棄物管理責任者	1	3
廃棄物管理責任者	1	1
冷媒回収技術者	0	2
乾燥設備作業主任者	1	3
プレス機械作業主任者	1	2
動力プレス事業内検査者	1	2
床上操作式クレーン運転、玉掛け資格者	1	2



事業活動における環境への取り組み

● 環境関連マーク表示商品

当社は環境物品を選ぶ際に参考となる環境ラベルや分別回収促進のための識別マーク等を表示した商品を販売しています。



● 安全衛生対策

安全衛生活動の実施により安全・衛生面における様々な対策を実施しています。



安全運転あいさつ運動(テクノセンター)



安全運転あいさつ運動(テクノセンター)



化学物質リスクアセスメント勉強会(テクノセンター)

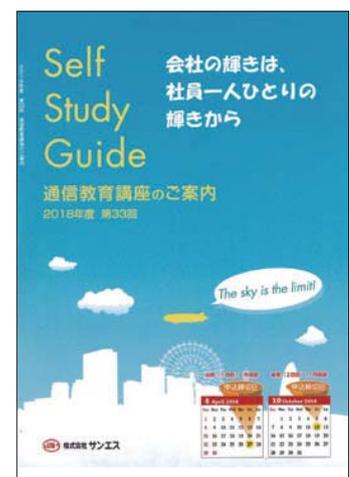
● フールビズ

地球温暖化防止のため、クールビズを全サイトにて実施しています。



● 通信教育・資格取得の奨励

自己啓発の一環として通信教育講座の受講や資格取得を社員に奨励し、一部費用を会社が負担しています。通信教育では、2017年度225名が修了しました。



● ポジティブアクション宣言

企業における女性活躍推進の取り組みである「ポジティブアクション」を推進しており、厚生労働省の「ポジティブアクション応援サイト」(<http://www.positiveaction.jp/>)にて取り組みを宣言しています。



ポジティブ・アクションを推進しています

社会的取り組み



●中学生の職場体験学習(サンミネラル事業部)
2017年8月21日～25日

福山市全公立中学校の職場体験「チャレンジウィークふくやま」の一環として、サンミネラル事業部のサーバーパネルの分解から清掃、温度検査、シールの貼り換え作業、梱包作業までの業務体験をしてもらいました。当事業部の受け入れは今年で11回目です。



●高校生「グローバル人材育成事業」成果発表会
2017年12月20日

福山市が主催する「グローバル人材育成事業」の一環として昨年訪問した高校生が、学習の成果として当社製品や技術を企業担当者や生徒の前で発表しました。



●広島県産業安全衛生大会
2017年10月25日

広島県労働基準協会主催「広島県産業安全衛生大会」が開催され、同協会の福山支部長である佐藤社長、また安全衛生委員会より社員が参加しました。



●福山大学宮地茂記念館での特別講義 2017年11月11日

福山市近郊の大学4校が共同主催している備後圏域連携グローバル人材育成事業より依頼を受け、大学生と社会人を対象に、会社紹介や海外展開、海外赴任について講義を行いました。



●大雨災害支援 空調風神服® 貸出
2018年7月19日

西日本を中心に大きな被害をもたらした平成30年7月豪雨災害支援活動として、福山市災害ボランティアセンターで空調風神服®の貸し出しを行いました。



本社

テクノセンター

テクノセンター



神辺工場

神辺工場

●環境美化活動

周辺地域の美化活動に積極的に取り組んでいます。



●じばさんフェア 2017 出展
2017年11月11日～12日

備後地域地場産業振興センター主催の「じばさんフェア 2017」が開催されサンミネラル事業部が出展しました。

製品開発における環境配慮

● 太陽光発電システム

当社は目に見える環境対策として太陽光発電システムの導入、販売を行っております。

● 太陽光発電システムの導入



テクノセンター



発電量公開モニター



テクノセンター来客用駐車場屋根

● 太陽光発電システムの販売



設置例



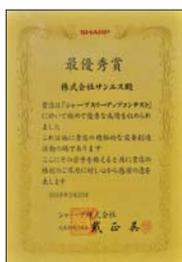
設置例



設置例

● 2017年度シャープスリーアップコンテスト表彰大会 2018年5月22日

テクノセンター(機器販売部)は、主要取引先シャープ株式会社様主催の2017年度シャープスリーアップコンテストにおいて最優秀賞を受賞し、表彰されました。



● オゾン水生成装置『AQUA PULITO』

原料は水道水と電気だけなので、残留性もなく、薬剤の補充やストックする手間もありません。毎日の手洗いがいでウイルスや雑菌対策、まな板や食材の洗浄鮮度が長持ちする効果もあり、様々な使用用途があります。



● 衛生除菌水『サンクリア』

サンクリアは、水道水に近い成分なので環境に優しく、アルコールでは殺菌できないウイルスも除去できます。また、肌荒れなどの心配もありません。耐酸性の超音波式加湿器のご使用で、室内の空間除菌や消臭にも効果があります。



● LED防蛾灯『サンビネックスライト』『サンビネックスライト mini』

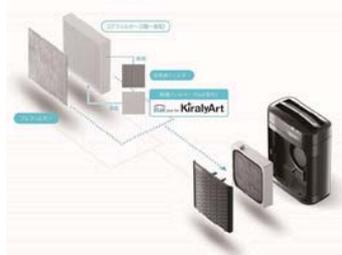
LED防蛾灯『サンビネックスライト』『サンビネックスライト mini』を開発しました。

長寿命・省電力のハイパワーLEDを採用し、光のカーテンで蛾の侵入を防ぎます。有害物質を含まないので、果樹園の防蛾に最適です。果樹園などで広範囲に夜行性害虫の食害を減らすことができます。害虫が減れば農薬散布も減り、環境汚染の低減が期待できます。



● 小型空気清浄機 (CL-K20F-01) 『KiralyArt (キラリアート)』

小型空気清浄機 (CL-K20F-01) 『KiralyArt (キラリアート)』を開発しました。確かな空気清浄力で、空気の不安や悩みにお応えする小型空気清浄機 CL-K20F-01。その違いは、独自のフィルターにあります。プレフィルターと、除菌フィルター・活性炭フィルターが一体となったコアフィルターの3層フィルターを搭載。中でも、Etak®を塗布した KiralyArt は優れた除菌・抗菌性能を有し、病気の原因菌などの不活性化を実現します。





環境報告書 2018

発行者

 **株式会社 サンエス**

〒720-2124 広島県福山市神辺町川南741-1
TEL. 084-963-1111 FAX. 084-963-5115

制作・印刷 株式会社ベッセル ベッセルプリンティング
2018年8月発行